

道徳科の評価



道徳科の評価はどうすればいいの？

道徳科における児童生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を把握し、道徳科の目標に照らし、児童生徒がいかに成長したかを積極的に受け止めて**認め、励ます**視点から、**個人内評価**として記述します。その際、大きくくりなまとまりを踏まえた評価とします。
※大きくくり・・・年間を学期で区切る等大まかな時間的なくくり。



■評価の基本的な考え方

1 一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているか

- (1)道徳的価値に関わる問題に対する判断の根拠や心情を様々な視点から捉えようとしている。
- (2)自分と違う立場や感じ方、考え方を理解しようとしている。
- (3)道徳的価値の対立が生じる場面において取り得る行動を多面的・多角的に考えようとしている。

児童生徒のノート記述例

- ・役割演技でAさんとBさんの気持ちも分かるし、CさんとDさんの気持ちもなるほどと思うので、すごく悩みました。そして、授業の最後には、互いに気遣い、相手の気持ちを考えることが大事だとよく分かりました。(2)

2 道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているか

- (1)読み物教材の登場人物を自分に置き換えて考え、自分なりにイメージして理解しようとしている。
- (2)現在の自分自身を振り返り、自らの行動や考えを見直そうとしている。
- (3)自己の取り得る行動を教師や児童生徒と議論する中で、道徳的価値の理解を深めている。
- (4)道徳的価値を実現することの難しさを自分のこととして捉え、考えようとしている。

児童生徒のノート記述例

- ・大事なことは、相手の気持ちを考えて冷静に話し合うことで、今までは、自分は考えを相手のことを考えずに言うてしまうことがあったので、そこを直した方がいいのかなと思いました。(2)

☑評価のための具体的な工夫例

授業では

- ・発言（座席表に記録）
- ・感想（道徳ノートやワークシート）
- ・質問紙の記述（ワークシート）
- ・板書を写真で残す



年間や学期を通じて

- ・児童生徒の学習の過程や成果などの記録を計画的にファイルに蓄積したもの。
- ・児童生徒が道徳性を養っていく過程での、児童生徒自身のエピソードを累積したもの。
- ・作文やレポート、スピーチやプレゼンテーションなど具体的な学習の過程を通じて児童生徒の成長を把握すること。

☑発言が多くない児童生徒や、考えたことを文章に記述することが苦手な児童生徒の見取り方

児童生徒が教師や他の児童生徒の発言に聞き入ったり、考えを深めようとしていたりしている姿から見取ります。例えば、他の教師と協力して、複数の教師が一つの教室を参観して児童生徒の新たな一面を発見します。

参考文献

- | | | | |
|-----|-----------------------------|------------|------|
| [1] | 浅見哲也：宮城県総合教育センター 道徳教育研修会資料 | | |
| [2] | 文部科学省：小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編 | p107 - 114 | あかつき |
| [3] | 文部科学省：中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編 | p109 - 116 | 教育出版 |